

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式 一問一答方式

質問件名 実践的シチズンシップ教育をすすめよう

【質問要旨】

小平市では次期の長期総合計画策定に向けて、市民アンケートや市民ワークショップなど市民からの意見・要望の収集を行なっています。その中では小学校出前授業や中高生、大学生などへのインタビューも行なっています。また、白梅学園大学が8月に行なった「小平市子どもサミット」では市内の小中学生が参加をし、「小平に暮らすことを考える」をテーマに話し合いを行い、まとめた内容を市に届けています。

2021年度からの次期長期総合計画はこれからの小平市の未来を担っていく子ども・若者たちのための計画だともいえます。

子どもたち自身が自分たちのまちは自分たちで考えるという意識を持つためのシチズンシップ教育という意味でも大変良い機会だったと捉えています。

一方で、「子どもの意見が通るとは思わない」や「選挙に行って投票する意味がわからない」との子どもたちの率直な感想もありました。

地域の課題を自分のこととして捉え地域と関わりながら、子どもたちが自分の思いを伝えることの大切さに気づき、同時に伝える場（手段）があること、受け止めてもらえる場があることは主権者教育の要になってくると考えます。

これらの積み重ねが若者の政治への関心や投票率の向上にもつながってくるはずです。

小平で育った子どもたちが「将来にわたり住み続けたいと思えるようなまちづくり」をしていくために市の計画に子ども・若者の意見をどう反映させていくかについて以下質問をします。

- ① 小学校出前授業やインタビューで得た意見などをどのように計画策定に取り入れていきますか。
- ② 出された意見に対しどのようにフィードバックしていくのか市の見解は。
- ③ 今後、計画策定までに子ども・若者参加の機会がありますか。
- ④ 直近の選挙での18歳、19歳の小平市での投票率をお示してください。
- ⑤ 市制施行40周年事業として行なった子ども議会を60周年事業として行う計画はありますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和元年 8月 26日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 山崎 とも子

受付番号【 】

| | | | |
|----|----|----|----|
| 27 | 26 | 25 | 24 |
| | | | |

-(/)